

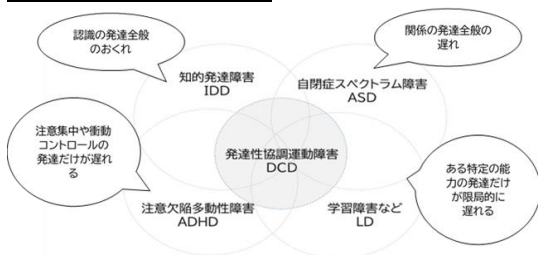


11月10日(月) 「発達支援について」 ～「発達」を「支援」するって、どういうこと?～

講師 かめおか乳幼児教育センター 臨床心理士
山元 彩乃 さん



主な発達障害と特徴



保育の視点・児童発達の視点が集まり交わる時間でした。



二次障害とは…

その人の障がい、早い時期に気がついて、その人に合ったような環境を作って、それでも残るのが一次障害。これまでの生活環境の中で、かぶさってきているのが二次障害。

発達障害は治りますか？ 神田橋條治ほか著

その一方で…

二次障害は、その大半は発達障害の子どもが、与えられた環境と渡り合いながら精一杯育ってきた過程で負った向こう傷の跡を意味している。そして、子育ての難しい子どもを育むために精一杯かかわった親や学校の奮闘の後である。という側面ももっている。

発達障害が引き起こす二次障害のケアとサポート 齋藤万比古 編著

困った子どもは、困っている子どもである

その人のことを知る ～当事者の言葉から～

- 指示されたことをすぐにやりたいと思っていますが、指示された行動をイメージしないと自分の行動には結びつきません。

自閉症の僕が飛び跳ねる理由2 東田直樹著

人は関係性の中で育つ

- 人の心は、人と関わることで育つ
- もとものの気質と環境との相互作用で人は育つ

そこはかたない
親しみをもって
子どもたちと過
ごしていきたい



遊びの大切さ

能動性・主体性の獲得 コミュニケーションの道具
創造性の芽生えと発展 感覚統合
視機能の発達 昔のあそび・微細な動きと大きな動き
遊びの中で学ぶ

コミュニケーションの原則

～子どもと相互のやりとりをするには～

- 子どもの発達レベルに合わせる。
- 会話や遊びの主導権を子どもに持たせる。
- 相手が始められるよう待ち時間を取る。
- ターン・テキング(やりとり)を行う。
- 会話や遊びを共有し、コミュニケーションを楽しむ。

子どものレベルに合わせ、子どもをより尊重する

SOUL (大人のとるべき基本姿勢)

- Silence(静かに見守ること) 子どもが場面に慣れ、自分から行動が始められるまで静かに見守る。
- Observation(よく観察すること) **何を考え、何をしているのか**よく観察する。コミュニケーション能力、情緒、社会性、認知、運動などについて能力や状態を観察する。
- Understanding(深く理解すること) **観察し感じたことから**、子どものコミュニケーションの問題について理解し、何が援助できるかを考える。
- Listening(耳を傾けること) 子どもの**言葉やそれ以外のサイン**に十分耳を傾ける。

インリアル・アプローチ 竹田契一・里見恵子 編著